

# 地域を愛し、地域から愛される長橋の子ども

## 福井市長橋小学校

### 1 取り組みの概要

#### (1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	1回
地域及び家庭への学校公開	25回

#### (2) 地域人材の活用 (のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	16人
授業ボランティア (含: 低ボラ)	21人
登下校支援ボランティア	300人
その他 ( )	人

#### (3) 特色ある活動

テーマ「ふるさと教育」

#### 具体的活動内容

##### ① 地域と連携した体育大会の開催

体育大会(9/11)を地区と合同で実施した。昨年度から、3つあった地区を2つにして地区対抗戦は2色になった。児童の係だけでは手薄になるので、PTAや地域の方も役割をもってもらい、スムーズに進行できた。

児童は、保護者からはもちろん地域の方々の熱烈的な応援を一杯にうけて、これまでの練習の成果を十分に発揮できていた。



##### ② デイホーム訪問

幼稚園児と1, 2年生が長橋地区, 3, 4年生が北菅生地区のデイホームを訪問して、地域のお年寄りの人たちとふれあった。

子どもたちが「屋号」で自己紹介すると、お年寄り「あ〜、あそこの家の子け〜。」と納得しながら、手作りのゲームを一緒にして遊んだり、劇や歌やダンスなど、とっても楽しく、笑顔にあふれていた。

児童は、学校で練習したことを披露でき、お年寄りの人たちがとても喜んでくれていることに、満足げであった。



##### ③ 地場産食材提供者との交流

学校の山側には、梅園があり、そこで児童は梅もぎを体験させてもらっている。その時に「どの梅が梅干しに適しているか」「どのように取るとよいか」など、アドバイスを地域の人からもらい、ビニール一杯梅をもいでいた。

児童は、収穫した梅で、梅干しづくりや梅ジュースづくりに楽しく取り組んでいた。そして、できたての梅干しやジュースをととてもおいしそうに口にしていた。



#### 成果と課題

##### (1) 成果について

本年度行ったアンケートでも、数多くの地域とのつながりを生かした学習の成果からか、児童は地域の自然や文化・人々に対して、深い愛着や誇りをもっている事がうかがえる。

##### (2) 課題および次年度に向けて

児童数・家庭数の減少に伴い、地域との人的つながりが徐々に少なくなりつつある。今後さらに児童数が減少しても、地域の支援が受けられるような組織や人材、地域と学校の情報交換のあり方を工夫しなければならない。

また、他校児童との交流や様々な体験学習が、コミュニケーション能力や社会性、表現力の育成という点からも、児童にとってますます重要になってくるであろう。